

「健康快適住宅」をキャッチフレーズにした有機溶剤を使わない天然素材中心の分譲住宅「木の家オアシス」がヒットしている。

「アトピー性皮膚炎は住宅に問題があるのでは……」。重症アトピーの子を持つ母親の相談が開発のきっかけだった。アトピーを悪化させるという指摘がある床や壁などの表面処理剤や接着剤。「新築にあたって、一



ヤマト住建



健康や安全をテーマに次々と斬新な分譲住宅を提案する西津社長

健康で快適「木の家オアシス」

切排除できないだろうか」という内容だった。

国産材の単板を使えば接着剤は使わなくて済む。しかしコストが約3倍に跳ねあがってしまった。

「一般サラリーマンが手に入る住宅を提供する」というのは西津昌廣社長(49)にとっても、読れない一線だった。輸入材に活路を求めて研究・開発を進めた。接着剤などに使われるホル

ムアルデヒドの室内濃度は厚生労働省の指針値のわずか13分の1。モデル住宅を訪れた人は、室内にあふれる木の香りに思わず深呼吸する。同じコンセプトの分譲マンション「アーバニスフレア」も3年前に始めた。

さらに最近、開発したのが「プロテクト防犯住宅」。防犯カメラ付きのライトを分譲区画全域の住宅に配備。窃盗や強盗を目的とした侵入を未然に防ぐのが狙いだ。

同社は脱サラをした西津社長が87年に創業。従来の分譲住宅の常識にとらわれない住宅開発に取り組んできた。西津社長は

天然素材で安全、安心

「お客様に感動を与える住宅をつくり続けるというのが目標。将来は全国展開も視野に入れています」と語る。【山本真也】

〒424-0801 神戸市中央区八幡通3の1の15(078・230・0600)。資本金3億1900万円。社員約70人。